



高養研 第39回研究協議会

事務局だより



開催日 令和6年7月30～31日
会場 かでる2・7
発行 北海道高等学校養護教諭研究会事務局

今年度も高養研にご加入くださり、ありがとうございます。

健康診断等、慌ただしい毎日が続いていたかと思いますが、夏季休業に入り、少しだけ時間にも心にも余裕ができたでしょうか。そのような中、高養研研究協議会にご参加くださり、大変ありがとうございます。

夏季休業はリフレッシュと学びの機会でもあります。講演や研究発表からの学びはもちろんですが、日常の執務で感じている疑問や日頃の思いなどをお近くの席の方と共有し、心も満たされる有意義な時間にしていただけると嬉しいです。

2日間どうぞよろしくお願いいたします。



講演1

「不登校－子どものこころと親の支援－」

講師 奈良女子大学 研究院 生活環境科学系 臨床心理学領域 教授

伊藤 美奈子 氏

近年急増している不登校について、とくに国の方針の変遷に注目しつつ、日本社会で話題になり始めてからの60年余りの歴史を眺めてみたい。その上で近年、不登校に大きな影響を与えた教育機会確保法を概説し、不登校に対する国の姿勢を確認したい。また、不登校のきっかけに関する文科省の調査結果を3つ並べることで、調査対象者によっても大きな違いがあることを確認すると同時に不登校をアセスメントすることの難しさを述べる。こうした背景に対し、不登校の子ども自身はどんな思いを抱え、どんな状況にあるのかについて、調査結果と、心理臨床の場では出会う不登校のケースや当事者のエピソードを交えつつ解説する。さらには、不登校の子どもを支える人である保護者に注目し、その保護者の気持ちを理解するとともに、子どもを支える人を支えることの重要性について述べる。最後に、不登校支援の今後に向けて考えていることをまとめておきたい。

<講師プロフィール（高養研より）>

1984年3月、京都大学文学部国文科卒業後、大阪の私立東大谷高等学校に教諭として着任（国語科）。その後、在職中の1990年3月、大阪教育大学大学院教育学研究科（学校教育学専攻）修士課程修了。1990年4月、京都大学大学院教育学研究科（臨床教育学専攻）修士課程入学に伴い、上記高校を退職。1995年3月、同博士後期課程学修認定（所定の単位を修得）。1996年5月、博士（教育学）取得。1995年4月より2年間、南山大学文学部専任講師を経て、1997年4月よりお茶の水女子大学大学院人間文化研究科・助教授。2003年4月、慶應義塾大学教職課程センター助教授、同教授を経て、2013年4月より現職。

講演2

「応急処置アップデート」

講師 独立行政法人 国立病院機構 旭川医療センター 臨床検査科 部長

玉川 進 氏

お呼びいただきありがとうございます。高養研での講演は13年ぶりとなります。

私の講演では、保健室で日常遭遇する外傷や内因性疾患への対応を解説します。熱中症、捻挫の対処や抗痙攣剤ブコラムの導入など13年前と大きく変わった事柄を中心に取り上げます。

あらかじめ参加者の皆さんから質問をいただき、それに回答する形で講演を進めていきますので、私に聞いてみたいことがあれば高養研へ伝えてください。参加者全員が満足できる講演にしますので楽しみにしてください。

<講師プロフィール（高養研より）>

1986 年 旭川医科大学卒業。旭川医科大学麻酔学講座入局

1987 年 自治医科大学集中治療部

1988 年 旭川医科大学麻酔学講座。その後市立稚内病院、留萌市立総合病院、旭川厚生病院などで勤務

2000 年 旭川医科大学第一病理学

2010 年 道北病院（現 旭川医療センター）病理診断科。現在に至る

**研究
発表**

「生徒健康診断等の業務の見直し～ICT活用による効率化～」

発表者 北海道遠軽高等学校 養護教諭 石川 かおり 氏

オホーツク管内は、近隣校との地理的な距離が遠く、顔を合わせて情報交換等を行うことが難しいことから、Zoom や Google などの ICT を活用した養護教諭の交流から始まり、①日々の業務が多岐にわたっていること、②各種検査など、年度始めに事務作業が膨大であること、③多様な生徒が入学することにより、生徒対応が増えていることなど、課題が明確になりました。

課題解決に向けて、ICT 活用は避けては通れないものと考えますが、ICT 活用に自信がなかったり、これまでの事務処理の方法が早く感じたりするなど、不安や新たな多忙感が予想されます。ICT 活用のスキルアップを図ることが出来れば、上記の課題解決に加え、養護教諭のストレスを減らし心の余裕を持つことができるとともに、養護教諭の本来の役割である「子どもたちの健康課題に対する個別的な対応を担う」ことになると考えました。こうしたことを踏まえ、健康診断の業務をゼロベースから見直し、ICT 活用の取組として、Google フォームを活用した研究を実施しました。各学校を取り巻く環境等は様々ですが、この研究発表の取組が、少しでも同じような課題や困り感を持っている会員の皆さまのヒントになれば幸いです。

**情報
提供**

「学校保健の課題とその対応」

情報提供・助言者 北海道教育庁学校教育局 健康・体育課

健康・体育指導係 係長 篠原 弥智 氏

お願い

～高教研（北海道高等学校教育研究会）養護部会会員登録のお願い～

諸先輩方の並々ならぬご尽力のおかげで、昭和 61 年に高教研の教科部会に仲間入りした養護部会の会員数が、残念ながら年々減少しています。養護部会が高教研教科部会の一つとして存在することは、養護教諭にとって大変意義深いことです。

充実した部会となるよう努力して参りますので、学校事情等あると思いますが、是非、会員登録をお願いいたします。（会員登録は、各校の管理職に申し出てください。）

○全体集会 令和 7 年 1 月 8 日（水）カナモトホール（札幌市民ホール）

○養護部会 1 月 9 日（木）かでの 2・7

